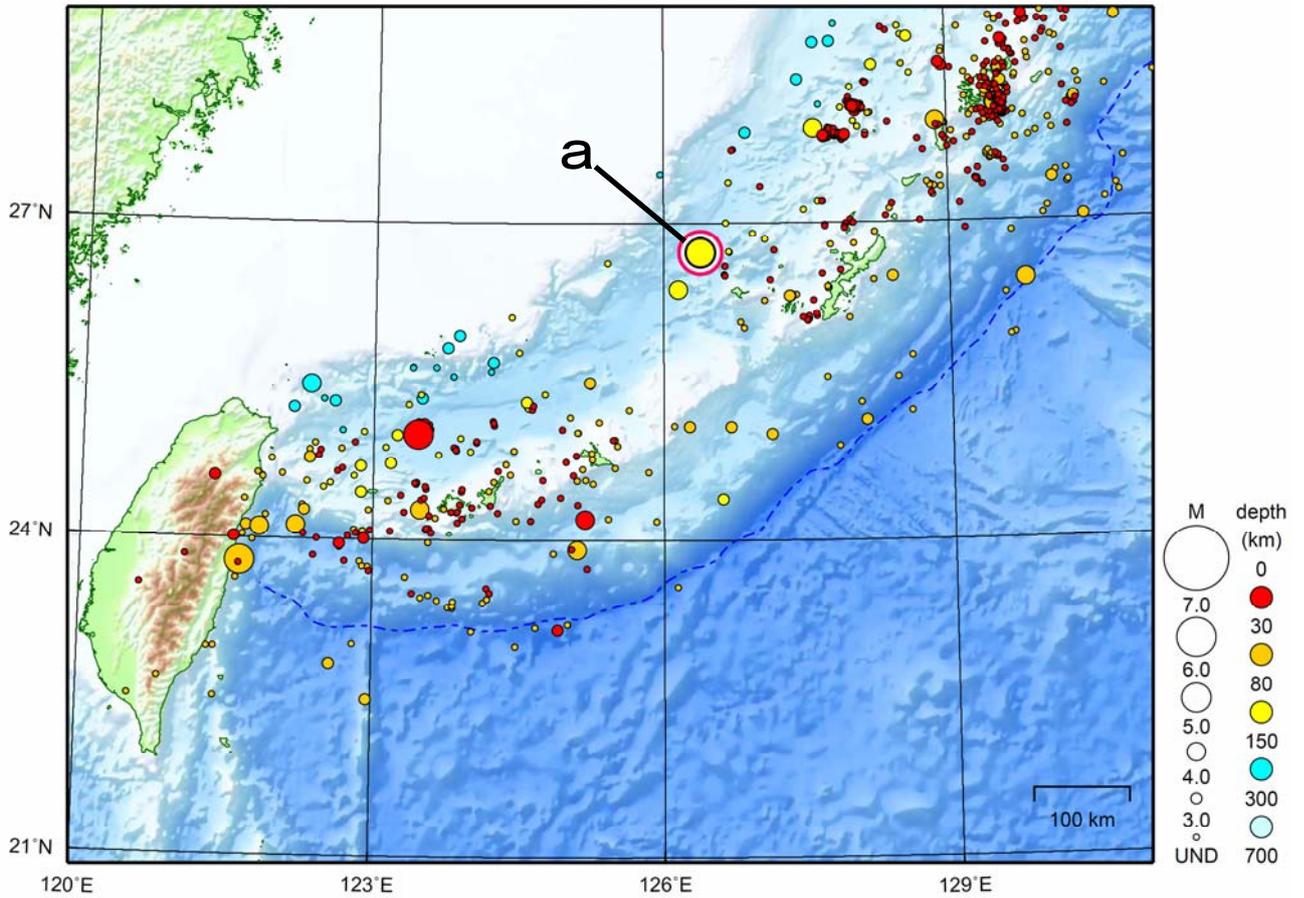


沖縄地方

2010/01/01 00:00 ~ 2010/01/31 24:00

N=1091



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

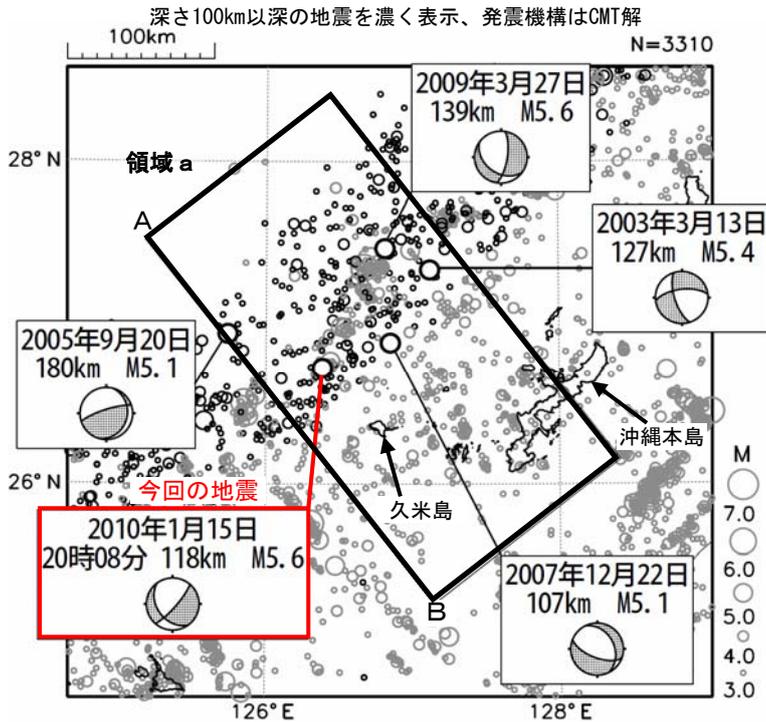
a) 1月15日に沖縄本島北西沖で M5.6 の地震 (最大震度 3) が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

1月15日 沖縄本島北西沖の地震

震央分布図

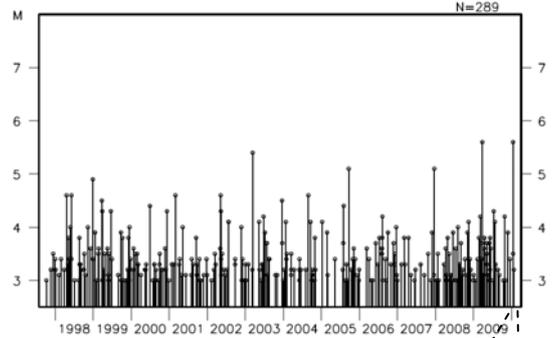
(1997年10月1日～2010年1月31日、深さ0～200km、M \geq 3.0)



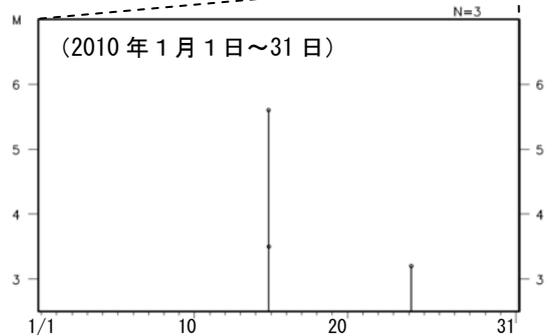
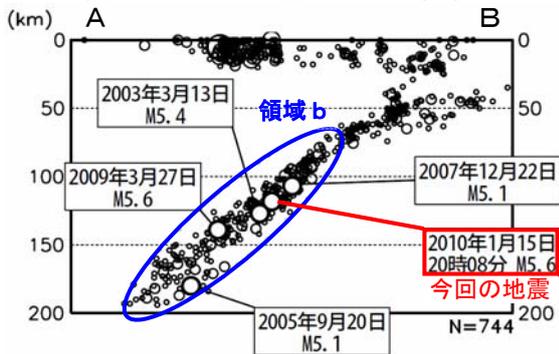
2010年1月15日20時08分に沖縄本島北西沖の深さ118kmでM5.6の地震（最大震度3）が発生した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した地震である。発震機構（CMT解）は北北西-南南東方向に圧力軸を持つ型であった。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域b）では、M5前後の地震が時々発生しているが、M6.0以上の地震は発生していない。

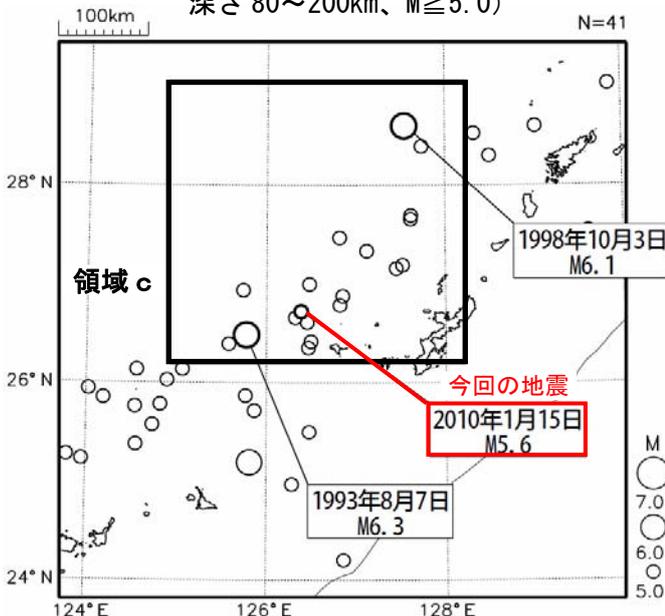
領域 b 内の地震活動経過図



領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



震央分布図 (1980年1月1日～2010年1月31日、深さ80～200km、M \geq 5.0)



1980年以降の活動を見ると、今回の地震の震源周辺（領域c）は、M6.0前後の地震がしばしば発生している領域である。

領域 c 内の地震活動経過図

